

県南広域振興局長

提出者 EC南部コーポレーション株式会社  
住所 岩手県奥州市水沢佐倉河字慶徳71番地  
氏名 代表取締役 菅原 正 聡

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	EC南部コーポレーション株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県奥州市水沢佐倉河字慶徳71番地	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	k1	*施設番号	
自動車の使用台数	126 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		k0
		k0
		k0

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）





別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (3年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	89 ( 24 )	106,556 ℓ	2.32 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	247,210.2 kg-CO <sub>2</sub>	95.6
軽油	37 ( )	403,292 ℓ	2.58 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	1,040,492.1 kg-CO <sub>2</sub>	69.4
LPG	( )	kg	3.00 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気	( )	kWh	0.457 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	126 ( 24 )			1,287,702.3 kg-CO <sub>2</sub>	73.3

備考1 保有台数欄の ( ) には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

<p><b>【目標値の達成状況(進捗状況)】</b>  前年に比べて排出量を大幅に削減できました。軽油車の保有台数が減ったことに伴い軽油の使用量が減少したこと、ガソリン車の保有台数も減ったがハイブリッド車は増えたことが要因の一つです。また、途中から遠方の現場が少なくなったため、毎日長距離移動をする車両が減ったことも要因の一つです。来年度は現場の状況を考えて同じように削減するのはかなり難しいですが、宿泊や乗り合わせなど工夫をして削減に努めます。</p> <p><b>【具体的な取組状況】</b>  1. アイドリングストップを実施する  2. 用途に合わせた大きさの車両を導入する  3. 交通の状況に応じ出来るだけ速度変化の少ない安全運転をする  4. 遠距離の現場に行くときは、なるべく乗合いで通勤する  5. 遠距離通勤は最短距離を心掛け若しくは宿泊を増やして通勤を削減する</p>
---

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

<p>1. 照明設備の適正管理  ① 昼休みは一斉消灯  ② 残業時間は部分点灯 (18時戸締りの徹底)  ③ 消費電力の少ないLEDライトに全ての電球を交換する  2. 紙・段ボール・雑誌・ガラス瓶・空缶・ペットボトル等は分別回収を徹底する  3. 紙使用量の削減  ① 使用済み用紙の裏紙の再利用  ② 両面コピーの徹底  ③ 会議資料のコピー削減</p>
--